日本共産党 和歌山市会議員
ひめだ高宏ニュース
NO.1116
'16.8.23

もうすぐの月定例市議会が。

オリンピック期間中、SMAPの年内解散が報じられました。28年間のグループ活動、歌やコントや芝居ができるアイドルグループの解散は残念ですが、新たなステージで頑張ってとエールを送ります。9月定例市議会の日程案を決める議会運営委員会が31日に開かれますので、9月7日（水）が開会予定に。

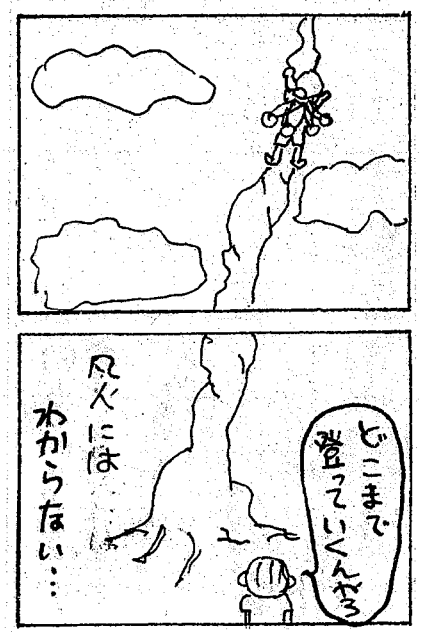
「きらり輝く元気和歌山市」をめざす基本構想というならば、市長や当局が、まず市の現状をどうとらえているのか、どこをどう変えればいいと考えているのかを明らかにすべきだと思います。今回出された第4次の後期基本計画の総括に関する資料は、どの課題についても一般的な課題が並べられているだけで、市の現状がどうで、どう打開すべきかが、まったく書かれていません。

例えば、「子育ての不安感や負担感の軽減・解消に一層取り組む必要があります」との記述や「市民の生涯学習活動や文化・スポーツ活動も十分ではないことから、環境の整備や機会の充実に取り組む必要」との記述について、何をどうとらえているのか、さっぱりわかりません。当局自身がわかっていればいいのですが、ただ一般的に書いているのではとの疑念がぬぐえませんでした。中身は基本計画でというつもりらしいのですが、本当に大丈夫？

長期総合計画に関する特別委員会
基本構想2回めの審議

8月10日（水）2回目の長期総合計画に関する検討特別委員会が開かれました。今回の委員会は、①第4次和歌山市長期総合計画後期基本計画の総括に関する資料、②第5次和歌山市長期総合計画審議会委員からの意見一覧、③第5次和歌山市長期総合基本構想（素案）8月8日時点の案の資料に基づき審議しました。

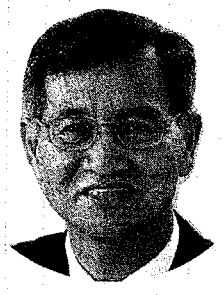
フツーの人々 〈899〉



今週のフツーの人々（その62）

超一流選手の祭典…五輪

南米初のリオ五輪が終わりました。夜中に時々目を覚ましては見ているというような感じのテレビ観戦の毎日。私は勝ち負けが気になってどの競技もじっくり見ていられない小心者だとあらためて気付きました。テレビが勝ったシーンを何度も繰り返すのは、競技内容より結果を求めるそんな視聴者が多いということでしょうか。女子レスリングの伊調馨選手は、女子個人種目で史上初の4連覇を達成。しかし自己採点は30点!!金メダルが25点分で、選手としては出直して来いという感じとは…超一流選手の自己採点の厳しさにビックリです。競技の知識も能力もないのに金銀銅の結果だけ求めるのは、おこがましい話ですが、たぶん4年後の東京五輪もこんな感じでテレビ観戦するんだろうなと思います。


ひめだ高宏

こんにちは 日本共産党です

戦争法の発動を許すな！

安倍自公政権は、南スーダンの国連平和維持活動（PKO）に11月から派遣予定の陸上自衛隊部隊に対し、戦争法（安保法制）で新たに可能になった「駆け付け警護」と「宿営地共同防護」の訓練を開始させようとしています。戦争法をいよいよ本格運用の段階へ移行させようとする危険なたくらみです。2つの任務とも、PKO法の枠を超えた武器使用の拡大を認めています。派遣時に実際に新任務が付与されれば、自衛隊が戦後初めて、「殺し、殺される」という、極めて深刻な事態が現実化しかねません。

内戦状態が続く南スーダンでは7月、自衛隊が駐留する首都ジュバで激しい戦闘により数百人が死亡する事態になりました。戦争法の発動を許さず、廃止を求める世論と運動を高める時です。

大門みきし参院議員迎えて
日本共産党を語るつどい
8月28日(日) 午後1時30分 開会
勤労者総合センター6階（市役所西隣り）

潮流

（16.8.23日刊紙）

週明けの台風に襲われた列島。東日本の各地で猛烈な雨が降り、土砂災害や浸水も次々と。交通機関も乱れ、北上中の今後も厳重な警戒が必要です▼日本と地球の反対側にあるリオデジャネイロも雨が降っていました。画面に列島各地の避難情報や警報を見ながらの五輪開会式。「喜びと祝福」の式典は多様性を強調した南米初の五輪の成功を世界に示しました▼内戦や紛争で母国を追われた選手たちで結成した初の難民チームも奮闘。シリアから海を泳いで脱出した競泳女子のユスラ・マルディニ選手は予選1組のトップでゴール。18歳の希望の少女は「ずっと五輪で泳ぎたかった」と▼国際オリンピック委員会のバッハ会長は「われわれは多様性のもとに団結することでより強じんになれることを示した」。スポーツを通し差別のない平和な世界をつくることに貢献する五輪精神は日本と東京に引き継がれました▼日本選手の活躍は4年後の期待をさらに。史上最多41のメダルの数だけでなく、最後まであきらめない姿や新しいことに挑戦する勇気の大切さを証明してくれました。それは他の格闘技や異なる分野から学んだ柔道をはじめ、指導者にも▼「SEE YOU IN TOKYO」。世界に誓った2020年東京五輪。準備段階から開発優先で都民や選手置き去りの失態がつづいていますが、「喜びと祝福」を17日間の宴だけに終わらせてはなりません。世界の人びとの胸に何を灯すか。受け継いだ五輪旗の重みをかみしめるときです。

しんぶん赤旗 日刊紙は1か月 3,497円